

「あま市污水適正処理構想（案）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

- 意見募集の期間： 平成 23 年 5 月 2 日（月）～平成 23 年 5 月 31 日（火）
- 意見を提出された方： 2 名
- 意見数 6 件(4 項目)

項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	最終目標の期限が明示されていない。完成目標が数十年先では、住んでいる人は生活設計を立てにくい。 (1件)	「あま市污水適正処理構想(案)」は将来の市の污水整備のあり方について検討を行い、市内ほぼ全域の下水道整備を今後の目指すべき方向として示したものであります。 今後は本構想(案)に基づき、事業計画・整備計画を立案するなかで、検討をまいります。
2	中期目標(2020 年)の人口普及率が30%程度でとどまり、整備区域内外で行政サービスに大きな差が生じるのではないかと。また、地域間の進捗率にも差があり、不公平である。 (2件)	今回の中期目標は、現時点であま市として整備を行う範囲を提示させて頂きました。 人口の集中している地区から優先的に下水道の普及を促進していくことで、地域間格差の解消に向けて取り組んでいきたいと考えております。
3	既に下水道が整備された区域では下水道に加入している人が少ないと聞いている。事前調査不足とともに、人口・家屋が密集している地域や下水道の住民ニーズが高い地域から整備を進めるべきではないかと。 (2件)	整備済みの区域は人口・家屋が密集している市街地を中心に整備を行っております。現段階では、供用開始1年目ということもあり、下水道に接続している人はまだ少ないですが、徐々に接続をさせて頂いております。 ご意見も参考にさせていただき、今後下水道の要望が高い地域や緊急度が高い地域等優先度も考慮しながら、事業を進めてまいります。
4	下水道事業は文化生活に欠かせないインフラであり、合併時のアンケート調査でも重要施策と位置づけられ、しかも満足度は最悪となっていた。下水道事業を早期に実現できるよう、最優先施策として取り組んでいくことをお願いしたい。 (1件)	下水道の整備については、合併時に策定した新市基本計画において、優先的に改善すべきまちづくり施策としております。現在、一部の区域で下水道の供用開始を行っており、限られた財源の中ではありますが、今後も引き続き供用開始ができるよう下水道事業の進捗を図ってまいります。